

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

資料2-1 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	みらい教育リサーチセンター	係	まなびプロモーション係
担当者	広瀬 一弥・野々垣 吉輝		直通	26-3916	内線	

①整理番号	章	4	節	I	具体的施策No. 施策名	②6. 遠隔・ICT学習環境や教材備品の整備①			
②事業No.事業名	I45.ICT機器を活用した教育の推進事業				事業実施期間	R3	～	R7	
③新規・継続	継続	④事業区分	単独	国補助率	-	府補助率	-		
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)									

⑥事業が目指すSDGsの目標

⑦事業の概要及び目的

遠隔・ICT学習環境など教育の情報化を進めるため、インターネット環境及びタブレットの整備を推進する。

⑧活動指標(アウトプット指標)

		取組	事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	インターネット環境の整備・保守、タブレットの配備及び遠隔授業用教材備品等の整備	30,015,500	ネット環境の整備:100% タブレットの配備:100% ウェブ会議システムの整備:100%
	実績	インターネット環境の整備・保守、タブレットの配備及び遠隔授業用教材備品等の整備	29,335,350	ネット環境の整備:100% タブレットの配備:100% ウェブ会議システムの整備:100%
			達成度	100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		20 %
R4	計画	インターネット環境の整備・保守、タブレットの配備及び遠隔授業用教材備品等の整備	73,400,000	ネット環境の整備:100% タブレットの配備:100% ウェブ会議システムの整備:100%
	実績			
			達成度	%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%
R5	計画	インターネット環境の整備・保守、タブレットの配備及び遠隔授業用教材備品等の整備	74,400,000	ネット環境の整備:100% タブレットの配備:100% ウェブ会議システムの整備:100%
	実績			
			達成度	%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%
R6	計画	インターネット環境の整備・保守、タブレットの配備及び遠隔授業用教材備品等の整備	70,700,000	ネット環境の整備:100% タブレットの配備:100% ウェブ会議システムの整備:100%
	実績			
			達成度	%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%
R7	計画	インターネット環境の整備・保守、タブレットの配備及び遠隔授業用教材備品等の整備	70,900,000	ネット環境の整備:100% タブレットの配備:100% ウェブ会議システムの整備:100%
	実績			
			達成度	%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方

ICT教育に必要なインターネット環境を整備すべき学校及び活用する児童数に対する整備・配備等の割合。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	①小学校におけるタブレットの活用率(毎日利用) ②中学校におけるタブレットの活用率(毎日利用)	①100% ②100%
R3	実績 ①小学校におけるタブレットの活用率(毎日利用) ②中学校におけるタブレットの活用率(毎日利用)	①56% ②58%
R4	実績	
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		100%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	ICT機器を活用した教育の推進を図るため、すべての児童生徒にインターネット及びタブレットの活用が可能な環境の整備を進めてきた。その環境を活かしたタブレットの活用状況を定量的な成果指標とする。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	インターネット環境の整備にあたっては順次計画的に整備を行い、タブレットの配備状況や今後の配備計画等を検討する中で、円滑な配備を行うことができた。
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

資料2-2進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育委員会	課	学校給食センター	係	学校給食センター
担当者		大西正明	直通	24-3833	内線	

①整理番号	章	4	節	1	具体的施策No. 施策名	②8.安全・安心で美味しい小学校給食の提供
②事業No.事業名	149.学校給食管理事業、給食提供事業			事業実施期間	R3	～ R7
③新規・継続	継続	④事業区分	単独		国補助率	-
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)						

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

- ・市内17小学校及び義務教育学校(前期課程)の学校給食業務(副食の提供)を行います。
- ・安全・安心な学校給食を提供するため、学校給食センターにおける給食調理・配送・食器や食缶類の洗浄・消毒を確実にしています。
- ・地場産物の活用、亀岡産京野菜を利用する等「安全・安心で美味しい給食」の提供を行います。
- ・学校給食センター設備、厨房機器等の計画的更新・整備を行います。
- ・食中毒事故等ゼロを継続します。

⑧活動指標(アウトプット指標)

取組		事業費(円)	(活動)指標値	
R3	計画	①106,150,000 ②41,265,000	①給食の提供 ②設備・機器の計画的更新	
	実績	①地場産物の活用、亀岡産京野菜を利用する等「安全・安心で美味しい給食」の提供をした。 地場産品:亀岡産キヌヒカリ100%、亀岡産野菜27.7%使用 ②厨房機器等の適切な管理を行い、効率的かつ効果的な更新・整備計画に取り組んだ。	①106,150,000 ②46,214,832	①年間給食185日提供 ②設備・機器の計画的更新
		達成度		100 %
		達成度(R3年度～R7年度累積)		20 %
R4	計画	①107,666,000 ②59,850,000	①給食の提供 ②設備・機器の計画的更新	
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%
R5	計画			
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%
R6	計画			
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%
R7	計画			
	実績			
		達成度		%
		達成度(R3年度～R7年度累積)		%

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方

学校給食においては、年間を通じて給食(副食の提供)を安定して提供する必要があるため。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	食中毒等の事故件数	食中毒等の事故件数 0件
R3	実績 食中毒等の事故件数	食中毒等の事故件数 0件
R4	実績	
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	学校給食においては、安全・安心な給食を提供する必要があるため。
-----------------------	---------------------------------

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	パコテンヒーター修繕・グラウンドケトル修繕（2機）等を事施しました。
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

資料2-3進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	教育部	課	学校教育課	係	学事係
担当者		井内 康博	直通	25-5053	内線	3733

①整理番号	章	4	節	1	具体的施策No. 施策名	②9. 安心して食せる中学校昼食の充実	
②事業No.事業名	150.中学校選択制デリバリー弁当(昼食提供)事業			事業実施期間	R3	~	R7
③新規・継続	継続	④事業区分	単独	国補助率	-	府補助率	-
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)							

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

中学生が心身の健康を増進する健全な食生活を実践するためには、家庭、学校、地域が連携して食育の推進に取り組んでいく必要があります。このため、子どもたちに栄養バランスの摂れた食生活を考える機会を提供するとともに、保護者の負担軽減を図ります。

⑧活動指標(アウトプット指標)

取組		事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	デリバリー弁当利用環境の整備、全中学校1年生を対象とする無料試食会の実施	年1回
	実績	デリバリー弁当利用環境の整備、全中学校1年生を対象とする無料試食会の実施	年1回
		達成度	100 %
		達成度(R3年度~R7年度累積)	20 %
R4	計画	デリバリー弁当利用環境の整備、全中学校1年生を対象とする無料試食会の実施	年1回
	実績		
		達成度	%
		達成度(R3年度~R7年度累積)	%
R5	計画	デリバリー弁当利用環境の整備、全中学校1年生を対象とする無料試食会の実施	年1回
	実績		
		達成度	%
		達成度(R3年度~R7年度累積)	%
R6	計画	デリバリー弁当利用環境の整備、全中学校1年生を対象とする無料試食会の実施	年1回
	実績		
		達成度	%
		達成度(R3年度~R7年度累積)	%
R7	計画	デリバリー弁当利用環境の整備、全中学校1年生を対象とする無料試食会の実施	年1回
	実績		
		達成度	%
		達成度(R3年度~R7年度累積)	%

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方	毎年度、5月~6月に開催することとしている全中学校1年生を対象とするデリバリー弁当無料試食会の開催実績を、定量的な活動指標とする。
------------------------	---

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	①1日当たりの平均注文数 ②試食会アンケート結果による「お弁当を注文したい」の割合	①120食 ②80%
R3	実績 ①1日当たりの平均注文数 ②試食会アンケート結果による「お弁当を注文したい」の割合	①61.3食 ②57.7%
R4	実績 ①1日当たりの平均注文数 ②試食会アンケート結果による「お弁当を注文したい」の割合	
R5	実績 ①1日当たりの平均注文数 ②試食会アンケート結果による「お弁当を注文したい」の割合	
R6	実績 ①1日当たりの平均注文数 ②試食会アンケート結果による「お弁当を注文したい」の割合	
R7	実績 ①1日当たりの平均注文数 ②試食会アンケート結果による「お弁当を注文したい」の割合	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	当該事業及び取組の目的が達成されるためには、より多くの生徒にデリバリー弁当を注文していただくことが必要であり、かつ、生徒のデリバリー弁当に対する認知度が高くなければならないと考え、試食会を実施し、その際のアンケート結果を定量的な成果指標とする。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

資料2-4進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	まちづくり推進部	課	桂川・道路交通課	係	広域事業・交通係
担当者		服部 均史	直通	25-5070	内線	3372

①整理番号	章	7	節	2	具体的施策No. 施策名	②13.まちづくりと一体となった総合的な公共交通ネットワークの形成 ②14.地域の協働と連携で支え合う公共交通体系の構築 ②15. モーダルシフト推進による公共交通の利用推進	
②事業No.事業名	329.公共交通の利便性向上			事業実施期間	R3	～	R7
③新規・継続	継続	④事業区分	一部補助	国補助率	-	府補助率	50%
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)							

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

地域活性化への貢献や観光振興による交流人口の拡大を促進できる総合的な公共交通ネットワークの形成を推進します。
人口減少や高齢化が進む中、公共交通空白地域を解消し、地域主体型交通の導入を促進するなど、地域住民、交通事業者、行政が協働し、需要と運行のバランスのとれた持続可能な交通弱者に配慮した公共交通体系の構築に努めます。
環境負荷の軽減や健康、経済的側面からもモーダルシフト(環境負荷の低い輸送・移動手段への切り替え)を推進し、公共交通の利用促進に努めます。

⑧活動指標(アウトプット指標)

取組		事業費(円)	(活動)指標値
R3	計画	①JRのダイヤ改正に合わせてコミュニティバス・ふるさとバスのダイヤ改正 ②地域住民が主体となって運行する地域主体型交通に対する支援の実施 ③小学校における交通環境学習の実施	120,399,000
	実績	①JRのダイヤ改正に合わせてコミュニティバス・ふるさとバスのダイヤ改正 ②地域住民が主体となって運行する地域主体型交通に対する支援の実施 ③小学校における交通環境学習の実施	117,493,217
	達成度		100 %
	達成度(R3年度～R7年度累積)		20 %
R4	計画	①JRのダイヤ改正に合わせてコミュニティバス・ふるさとバスのダイヤ改正 ②地域住民が主体となって運行する地域主体型交通に対する支援の実施 ③小学校における交通環境学習の実施	134,596,000
	実績		
	達成度		%
	達成度(R3年度～R7年度累積)		%
R5	計画	①JRのダイヤ改正に合わせてコミュニティバス・ふるさとバスのダイヤ改正 ②地域住民が主体となって運行する地域主体型交通に対する支援の実施 ③小学校における交通環境学習の実施	
	実績		
	達成度		%
	達成度(R3年度～R7年度累積)		%
R6	計画	①JRのダイヤ改正に合わせてコミュニティバス・ふるさとバスのダイヤ改正 ②地域住民が主体となって運行する地域主体型交通に対する支援の実施 ③小学校における交通環境学習の実施	
	実績		
	達成度		%
	達成度(R3年度～R7年度累積)		%
R7	計画	①JRのダイヤ改正に合わせてコミュニティバス・ふるさとバスのダイヤ改正 ②地域住民が主体となって運行する地域主体型交通に対する支援の実施 ③小学校における交通環境学習の実施	
	実績		
	達成度		%
	達成度(R3年度～R7年度累積)		%

活動指標(アウトプット指標)の具体的な考え方
総合的な交通ネットワーク形成するためにJR駅との接続を考慮したダイヤ改正を適宜図る必要がある。
公共交通空白地域を解消し、地域公共交通を確保・維持していくため、地域住民と協働することが持続可能な公共交通体系の構築につながるため、地域主体型交通に対する支援が必要である。
環境にやさしい交通行動への転換を推進するため、市民に対して環境に関する情報提供や車社会から公共交通への利用転換を促す働きかけを推進する。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果)指標値
期間を通じた目標	コミュニティバス・ふるさとバス利用者数 地域主体型交通の支援・協議団体数	225,000人以上 支援:5団体以上
R3	実績 コミュニティバス・ふるさとバス利用者数の維持 地域主体型交通の支援・協議団体数	171,639人 支援:1団体、協議・調整:3団体
R4	実績	
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	バス交通関連経費の大部分を占めるふるさとバス、コミュニティバスの利用者とする。 (新型コロナウイルス感染症拡大前の令和元年度実績225,127人を目標とする。) 公共交通が乏しい市内周辺部において、日常の生活交通を支える地域主体型交通の5団体以上の実施が望ましい。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	令和3年度 ・ふるさとバス別院コースの一部区間でフリー乗降を追加実施した。 ・地域主体型交通を促進するため、「亀岡市交通空白地等地域生活交通事業補助金交付要綱」を一部改正した。 ・バス交通の利用促進や市内交通渋滞緩和のため、市民ノーマイカーDayを5日間実施した。
進行上の課題や問題点	公共交通の利用者数は、人口減少や新型コロナウイルス感染症の影響等の社会情勢に大きく左右される。
変更した理由	
その他	